

第一問

問一	生き物全体を大切にせず、自分や人間に役立つことだけを考えており、「当事者性」が身についていないから。		
採点基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生き物全体を大切にしない</li> <li>・自分や人間に役立つことだけを考えている</li> <li>・「当事者性」が身についていない</li> </ul>		
問二	マインドセットを切り替えること		
問三	③	問四	パラダイム
問五	③		
問六	「予測困難で不確実、複雑で曖昧」な時代		
問七	④		

第二問 (33 点)

問一	① 一辺倒	② 蓄積
	③ 境遇	④ 醜 (見憎・見悪) (さ)
問二	自分には想像も理解もし得ない他者性が、他者には含まれている (ということが分かったから。)	
問三	寄らば大樹の陰 (蔭) 別解：立ち寄らば大木のかげ/犬になるとも大所の犬になれ※	
問四	共に思い合う関係性の基盤 (をつくれればよい。)	
問五	①	問六 ⑤
問七	②	問八 ④

第三問

問一	① 我慢	② 阻害 (碍・礙)
	③ 邪念	④ 叙事
問二	腕を磨く (腕が鳴る・腕によりをかける・腕をのす・腕をふるう・腕があるなど)	
問三	⑤	問四 隠喩 (暗喩)
問五	イ：⑤ ロ：①	問六 人間の本心
問七	②	問八 ④